



宮城県内議会トップ20公開 1位は登米市議会 宮城県議会、柴田町議会が続く

「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月13日、2017年度「議会改革度調査」の宮城県内ランキング上位を公開しました。

1位は登米市、2位は宮城県、3位は柴田町となり、自治体規模の異なる議会がトップ3に並びました。気仙沼市は、前年度から躍進し9位にランクインしました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>



▼宮城県内の議会ランキングTOP20

※総合順位の300位以下、前年未回答は「-」と表記。 ※宮城県内は27議会が回答（回答率75%）

順位	議会名	総合順位	前年比	順位	議会名	総合順位	前年比
1	登米市議会	39	+5	11	利府町議会	248	+51
2	宮城県議会	64	-9	12	名取市議会	274	-107
3	柴田町議会	65	+79	13	大和町議会	-	-
4	大崎市議会	73	+11	14	涌谷町議会	-	-
5	美里町議会	135	-70	15	東松島市議会	-	-
6	角田市議会	157	+14	16	塩竈市議会	-	-
7	白石市議会	172	-119	17	蔵王町議会	-	-
8	大河原町議会	193	-95	18	川崎町議会	-	-
9	気仙沼市議会	195	+180	19	石巻市議会	-	-
10	栗原市議会	201	-112	20	仙台市議会	-	-

■TOP3議会、注目議会の特徴

- ・1位【登米市議会】議会基本条例の目的が達成されているかの検証作業（継続36、拡充12、改善4、実施21）と報告を実施。タブレットやクラウドシステムを導入し、資料の電子化を推進。
- ・2位【宮城県議会】過去3年間で「みやぎ子ども・子育て県民条例」「宮城県薬物の濫用の防止に関する条例」「みやぎ森と緑の県民条例」など、4本の条例を議員提案にて制定。
- ・3位【柴田町議会】議員間討議の手法を工夫して実施。毎年地元高校生との懇談会を開催。有識者を講師とした研修会を公開で行い、一般町民や近隣市町の議会議員を招きともに学ぶ機会としている。
- ・注目【気仙沼市議会】議会基本条例の達成度を全議員で評価し、ネット上で公開。議会報告会は14会場で開催し193名が参加した。議会広報では、未成年を対象とした記事も掲載している。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

(回答率74%)。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木
TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>